

## 駐日ドイツ連邦共和国特命全権大使と 小諸市長の懇談を行います

駐日ドイツ連邦共和国 クレーメンス・フォン・ゲッツェ特命全権大使が、長野県を訪れ、知事表敬や高校生と意見交換を行うとともに、県内視察のため、マンズワイン小諸ワイナリーにて、小泉俊博小諸市長、キッコーマン株式会社茂木修取締役専務執行役員、マンズワイン株式会社島崎大代表取締役社長と懇談を行います。

### ■詳細情報

- (1) 日 時 令和5年2月10日(金) 午後1時30分から午後2時50分まで(予定)
- (2) 場 所 マンズワイン小諸ワイナリー
- (3) 内 容 小諸市・マンズワイン小諸ワイナリーを紹介し、大使と懇談
- (4) 来 訪 者 駐日ドイツ連邦共和国クレーメンス・フォン・ゲッツェ特命全権大使
- (5) 対 応 者 小諸市長 小泉 俊博(こいずみ としひろ)  
キッコーマン株式会社 茂木 修(もぎ おさむ) 取締役専務執行役員  
マンズワイン株式会社 島崎 大(しまざき だい) 代表取締役社長
- (6) 経 緯 今回のマンズワイン小諸ワイナリーへの来訪は、グループ会社であるキッコーマン株式会社茂木友三郎取締役名誉会長 取締役会議長が2002年から2015年まで日独フォーラム日本側座長を務め、ドイツとゆかりがあること、G7外相会合を前に官民連携した招請活動を受けて、長野県内70以上あるワイナリーの中から、マンズワイン小諸ワイナリーが選ばれました。
- (7) 取材申込 社名、人数、カメラ台数を 2/9(木) までに小諸市商工観光課へご連絡下さい。  
なお、詳細については、お問い合わせください。

### ■問い合わせ先・取材申込先

小諸市役所 商工観光課 観光交流係 担当：榎澤浩一、田中清継  
TEL 0267-22-1700(内線2211) Eメール kanko@city.komoro.nagano.jp

### 千曲川ワインバレーの先駆者 マンズワイン小諸ワイナリー

気候風土がぶどう作りの適地として、近年熱い注目を浴びる千曲川ワインバレー。マンズワインはこの地でいち早くぶどう栽培をはじめ、1973年に小諸ワイナリーを開設し、今年50周年を迎えます。マンズワインの技術を結集した「ソラリス」シリーズを主に生産し、国内外で高い評価を受けています。

所在地 長野県小諸市諸375  
電 話 0267-22-6341

